

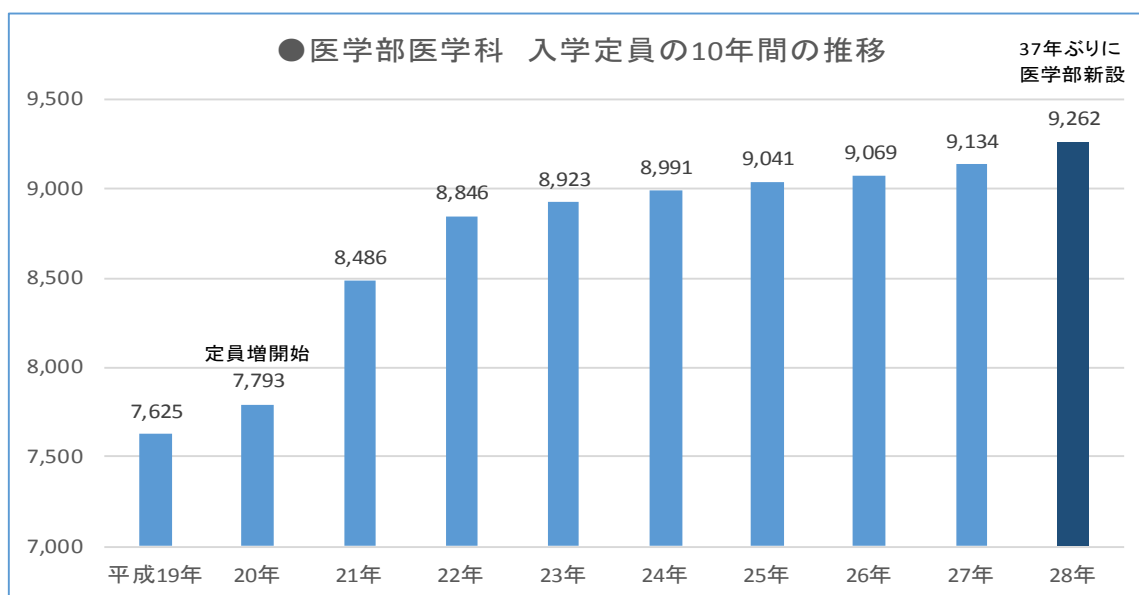
# 37年ぶりの医学部新設と9年連続の定員増 28年度に増員される入試方式はこれだ！ 東北医科薬科大 - 医は定員100人、一般入試のみで募集

旺文社 教育情報センター 平成27年12月

平成28年度は、医学部医学科（以下、医学部）の37年ぶりの新設（東北医科薬科大）が、文部科学省に認可された。また、国立2大学・私立7大学の既設の医学部から申請された、計28人の入学定員増も認可された。これで、医学部の定員は9年連続で増え、過去最多の9,262人となった。12月中旬現在、新設医学部、または定員増を行った各医学部の具体的な増員内容は全て明らかになっている。ここでは「どの入試方式が何人増えるのか」を一覧にまとめて紹介する。

4月に開設される東北医科薬科大（東北薬科大から名称変更予定）の医学部は定員100人、このうち55人が宮城県（30人）をはじめ東北地区対象の修学資金枠（後述の「地域枠」）、残り45人が一般枠だ。また、その他の既設の医学部からも、定員増（36年度までの期限付き）が申請された。22～27年度と同様、①地域枠（地域医療への従事を条件とした奨学金と選抜枠を設定）、②研究医枠（研究医を養成）、③歯学部振替枠（学内の歯学部から定員を振替）、の3つの枠組みが設けられたが、①が9大学28人増、②と③は申請がなかった。大学別では、筑波大 - 医学類の8人増が最も多い。

次ページに、定員増を行う医学部について、増加数や地域枠の内訳（どの都道府県で何人募集か）、「どの入試方式・日程を何人増やすか」を一覧に示した。地域枠は、入試の段階で設定する大学と、入学後に希望者を募って選考する大学がある。また、認可前に各大学から公表された募集要項には、定員増以前の募集人員が載っているので、定員増による変更を太字で示した（「募集要項の段階→定員増の後」で比較）。さらに、定員増を行わない医学部についても、27年度と比べて募集人員の変更がある場合は「27年→28年」で示した。なお、詳細は各大学のホームページ等で確認のこと。



## 平成28年度 医学部の新設・定員増と募集人員の変更 (27年12月中旬現在)

大学・学部(学科)	28年度の定員増 (編入学含む)	定員増の内訳		28年入試の募集人員の変更 (太字は今回の定員増による変更)
		①地域枠	地域枠の内訳	
弘前大-医(医)	132人(変更なし)			前期65人→62人(青森県定着枠15人→12人)、セ試験すAO47人→50人(青森県定着枠3人を移行)
筑波大-医学類	132人→140人	8人	茨城8人	①茨城8人、 <b>前期69人→77人(地域枠&lt;全国対象&gt;6人→10人、同&lt;茨城県内対象&gt;4人を新規実施)</b>
東京大-医(医)	110人(変更なし)			理科3類<前期>100人→97人(セ試験す推薦3人を新規実施)
信州大-医(医)	120人(変更なし)			前期85人→100人、後期を募集停止
京都大-医(医)	107人(変更なし)			前期107人→102人、特色入試(5人:セ試験免除推薦)を新規実施
長崎大-医(医)	121人→123人	2人	長崎2人	<b>地域医療特別枠推薦(セ試験す)6人→8人</b>
熊本大-医(医)	115人(変更なし)			前期80人→95人、後期を募集停止
◇横浜市立大-医(医)	90人(変更なし)			前期90人→85人、地域医療枠推薦(5人:セ試験す)を新規実施
☆東北医科薬科大-医	100人(新設)	55人	A方式(宮城30人、青森・岩手・秋田・山形・福島各1人)、B方式(宮城以外の東北5県合計20人)	<b>一般入試100人(修学資金枠55人、一般枠45人)</b>
☆埼玉医科大-医	126人→127人	1人	埼玉1人	<b>一般前期61人→62人</b>
☆北里大-医	119人(変更なし)			一般入試84人→79人、指定校推薦30人→35人
☆順天堂大-医	127人→130人	3人	埼玉3人	<b>一般入試、一般・セ試験併用、セ試験利用入試、国際臨床医・研究医枠入試をあわせて3人増</b>
☆帝京大-医	118人→120人	2人	静岡2人	<b>一般入試108人→110人</b>
☆東海大-医	115人→118人	3人	静岡3人	<b>一般A方式70人→60人→63人(静岡県地域枠3人を新規実施)、セ試験利用前期・後期を新規実施(計10人)</b>
☆日本大-医*	120人(変更なし)			N方式1期(3人:学部共通試験)を新規実施、A方式102人→99人
☆日本医科大-医	114人→116人	2人	千葉1人、静岡1人	<b>一般入試114人→116人</b>
☆金沢医科大-医	110人(変更なし)			一般入試70人→65人、AO入試10人→15人
☆愛知医科大-医	113人→115人	2人	愛知2人	<b>愛知県地域特別枠入試(セ試験利用)8人→10人</b>
☆藤田保健衛生大-医	115人→120人	5人	愛知5人	一般前期60人→70人、一般後期25人→15人、 <b>一般前期(愛知県地域枠)5人→10人</b>
☆近畿大-医	115人(変更なし)			一般前期70人→65人、C方式セ試験前期6人→10人、同中期2人→3人
☆兵庫医科大-医	112人(変更なし)			一般入試74人→79人、公募推薦15人→10人

(注1)◇は公立、☆は私立。定員増は原則として編入学定員を含む。ただし、日本大-医の「定員増」欄の\*は、募集人員を示す。

(注2)「定員増の内訳」のうち、申請のなかった「②研究医養成」と「③歯学部から振替」の欄は設けなかった。

(注3)「地域枠の内訳」は、地域枠の連携先の都道府県を示す。

(注4)備考欄中、28年入試の募集人員の変更については、セ試験＝センター試験、(以下、国公立大について)セ試験免除＝セ試験を課さない推薦・AO、セ試験す＝セ試験を課す推薦・AO、前期＝前期日程、後期＝後期日程、の略。また、募集人員の変更は、27年12月中旬現在の判明分を掲載。